

6. 公園整備におけるコンセプト及び整備方針

前節までの内容を踏まえ、本公園を整備するにあたっての、コンセプト及び整備方針を整理する。

(1) 南花台の生い立ち、近年の変化、未来

■南花台の生い立ち

昭和 57 年にまちびらきし、多くの子育て世代が、高台の丘に位置するこの南花台に、きれいな空気、大きな青空、心地よく吹き抜ける風、目に飛び込む壮大な自然、そして子どもたちが走り回る活気を求めて移り住んできた。

多くの子どもたちは、進学、就職、結婚を機にこの地を離れてしまったが、親世代は 40 年という歳月を重ねるなかで、このまちらしいコミュニティを育み、助け合いながらまちの活力を維持し、今日では新たに次世代の暮らしが生まれている。

■南花台での近年の変化

【これまでの変化】

■地域のスーパーコノミヤの空き店舗が「コノミヤテラス」に！

■南花台西小学校跡地が「錦秀会看護専門学校」に！

【これからの変化】

■南花台小学校と南花台中学校が「小中一貫教育推進校」に！

■UR 南花台団地集約跡地が「サッカースタジアムを含む（仮称）南花台中央公園」に！

■エリア内に点在する公園の一部が「新たな都市機能」に！

■エリアの公園が「新たな公園」に！

■南花台の未来

まち開き当時に入居した住民が求めた豊かな住環境は、今も変わらず南花台での生活の気持ちよさを支えている。

これからの南花台は、このような環境を一層大切にしながら、時代のニーズに応じた、誰もが主体的に使いこなせる新たな居場所をつくり、日常生活の楽しさや安心感を高め、次代を担う子どもたちが走り回り、それを地域のみんなが微笑ましく眺め支えている、そんな活気と幸福感のあるまちを創造する。

そのためにも、地域の住民を中心に地域にかかわる者みんなでまちをつくり、守り育て、魅力を増やしていける、そんな誰もが協働できるまちづくりを進める。

(2) コンセプト

南花台の未来を切り開くために、下記の3つのコンセプトに基づき、スタジアムと公園が一体となったあたらしい拠点を整備することで、生活環境の新たな基盤づくりを進める。

- ・ 南花台に暮らし続ける世代だけでなく、あらたな子育て世代にとっても、暮らしたくなる、暮らし続けたいとなる、**生活の質を高め暮らしを支える公園づくり**
- ・ 南花台の豊かな住環境をさらに強く感じられる、**まちの価値を格段に高める美しい公園づくり**
- ・ 計画から運営までの整備プロセスに、地域の誰もが関わることができ、一緒になって育てて行ける仕組みを持つ、**愛着を持ち続けられる公園づくり**

(3) 整備方針

整備方針（1） 生活の質を高め暮らしを支える公園づくり

- ・ 地域で子どもを育てる、子どもが育つ環境を支える公園。
- ・ 憩い・遊び・地域活動（防災活動含む）・健康づくり・スポーツなどを通じ、日常的にコミュニティを育むことができる公園。
- ・ 園児・児童・生徒・学生、社会人、高齢者等の世代を超えた利用が自然に生まれる公園。
- ・ すべてのエリアで日常的利用が生まれる公園。
- ・ あらたな交流や地域への経済循環を高めることにつながる来訪者がいる公園。
- ・ 障がい者目線を取り入れた利用する人にやさしいインクルーシブな公園。
- ・ ジェンダー視点を取り入れた誰もが気持ちよく訪れることができる公園。

整備方針（2） まちの価値を格段に高める美しい公園づくり

- ・ 南花台の豊かな住環境の魅力をさらに心地よく感じることができる公園。
- ・ 周辺住宅地及び歩行者動線と適度な連続感があり、不要な死角がなく、安心して利用できる公園。
- ・ 都市的な目線での交通・歩行者動線のあり方が最大限考慮された公園。
- ・ 南花台1号線により分かれている2つのエリアの一体感を創出する歩行空間・都市空間を持つ公園。
- ・ まちの魅力や価値を高める景観資産となる美しい公園。

整備方針（3） 愛着を持ち続けられる公園づくり

- ・ 地域の住民が整備プロセスに関わることを通じて愛着が生まれる公園。
- ・ 完成後の公園マネジメントに住民が参画する仕組みを構築し、地域住民が関わり続け、守り育てていくことのできる公園。
- ・ 「スぺランツァ大阪」をわがまちのチームとして身近に感じ、地域が一体となって盛り上げる公園。
- ・ すべてのエリアにおいて日常的な利用が生まれる運営の仕組みを持つ公園。